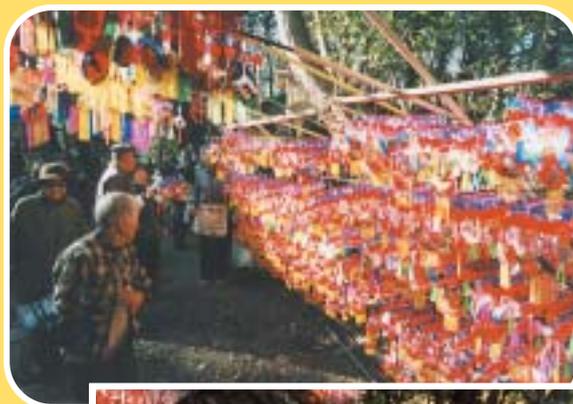


# ところざわ 市議会 だより

平成19年(2007年) 1月26日  
発行/所沢市議会  
編集/議会報委員会

第 **141** 号



■毎年大勢の参拝者でにぎわう水天宮・だるま市(久米)

## 議員提出による定数条例の 一部改正はいずれも否決

### おもな内容

ページ

- ◆第4回(12月)定例会 おもな議案の概要、  
12月定例会の動き、議案に賛成×反対します ……2~3
- ◆市政に対する一般質問 ほか ……4~7
- ◆請願・陳情審議の結果、閉会中の議会活動から、  
市議会ココ3か月 ……8

## 平成18年 第4回定例会(12月4日→12月20日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は市立図書館、市役所1階・市政情報センターなどで閲覧できます。

平成18年第4回(12月)定例会

# 議案を可決しました 32件

平成18年第4回(12月)定例会は、12月4日から12月20日までの17日間の会期で開かれました。

市長から提出された議案20件はすべて可決され、閉会中の審査となっていた平成17年度決算12件(決算の討論は7ページに掲載)も認定されました。

議員提出議案は、会議規則の一部改正1件が可決されたほか、定数条例の一部改正など4件が否決されました。



## 市長等の給料を減額する条例を制定

### 条例・規約

条例に関する議案は条例制定が1件、一部改正が4件ありました。  
■市長等の給料の特例に関する条例制定

給与構造改革が示され、一般職員の給与引き下げを検討する中、市長等の給料を減額することとなりました。1月1日から市長の任期である10月29日までの間、市長7%、助役6%、収入役、水道事業管理者及び教育長5%を給与月額から削減します。

■生涯学習センター条例の一部改正

中央公民館の建て替えに伴い、代替施設として生涯学習センターに学習室を4室増設します。

また、ホール使用料を1、200円から600円に改定し、体育室は地区体育館使用料と同様の料



生涯学習センター(泉町)

金体系に改め、公共施設案内・予約システムにも対応できるようになります。

■埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立

75歳以上を被保険者とする後期高齢者医療制度が創設され、事務処理を県内全市町村が加入する広域連合で行うことに伴い、その規約を定めました。

### 問

具体的には2年後から不安を感じている。お知らせはどのようにするのか。

### 答

現状は情報不足であるため、積極的な情報収集に努め、広報などで理解を求めます。

### 補正予算

補正予算に関する議案は一般会計と国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の3件がありました。

一般会計の補正は1億3、016万7千円を増額し、補正後の予算総額は813億8、351万6千円となりました。

■障害者施設新体系移行支援事業補助金 109万3千円

障害者自立支援法に基づく新体系への施設移行を促進するため、就労支援や施設のサービス水準向上の事業を実施した施設に対し、費用の一部を補助します。

### 12月定例会の動き

●12月4日	提案理由の説明・議案説明
●12月5日	決算特別委員長報告・質疑・討論・採決 特別委員会中間報告・常任委員長報告(特定事件)・質疑
●12月7日	議案質疑
●12月8日	議会運営委員会および四常任委員会並行審査
●12月12、13、14、15、18日	市政に対する一般質問
●12月19日	常任委員会中間報告 常任委員長報告・質疑
●12月20日	討論・採決 追加議案の上程・採決 議員提出議案の上程・採決

■企業内保育施設等地域活用事業費補助金 103万2千円

企業内保育施設に、従業員の児童の他、地域の児童を受け入れるために行う改修などの費用の一部

# 契約・人事等

補助するものです。  
対象となるのは埼玉西ヤクルト販売株式会社、西所沢、中富の2か所の販売所内保育施設です。

## ■公の施設の指定管理者の指定

施設の名称 ラーク所沢  
指定する団体 所沢市公共施設管理公社

指定期間 平成19年4月1日～平成24年3月31日

成24年3月31日

■所沢村山線道路築造工事請負契約

契約金額

2億1,682万5千円

契約相手 日栄建設株式会社

■北秋津雨水2号幹線築造工事請負契約締結についての一部変更

既決契約金額

6億5,625万円

変更後契約金額

6億7,048万8千円

変更の理由 薬剤を注入し地盤改良を行い、地下水を止水するため。

■人権擁護委員の推薦に同意

・新井恒一氏(51歳・緑町)

■市道路線の認定・廃止 6件

## 議員提出議案

議員からは5件の議案が提出され、このうち「議会議規則の一部改正」を全会一致で可決しました。

また、連続する2回の定例会を欠席した議員の報酬支給停止等に

ついて規定した「所沢市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」は無記名投票による採決の結果、賛成14票、反対20票で否決となりました。

続いて、3件の議員定数に関する議案が提出されました。

議案第15号は、より多く市民の意見を反映するため、現在の議員定数である36人を40人に増やし、その一方で報酬額を削減して定数が増えなくても支出額を削減するものです。無記名投票による採決の結果、賛成10票、反対23票、無効(白票)1票で否決となりました。

議案第16号は、議員定数を30人

にするものです。ゼロベースで定数を考え、議員の法上限数(46人)で最大住民数(50万人)を除き、その数で、所沢市人口を割った場合、約30人になることがその根拠となっております。無記名投票による採決の結果、賛成9票、反対25票で否決となりました。

議案第17号は、市民1万人に議員1人とすると約34人になることや、現員数は1人減員の35人ですが運営上支障がないため、財政面も考慮し、さらに1人削減して議員定数を34人にするというものです。無記名投票による採決の結果、賛成15票、反対18票、無効(白票)1票で否決となりました。

32議案中(決算を含む)意見が分かれた議案に対する会派の態度	市民クラブ (7人)	公明党 (6人)	日本共産党 (6人)	民主党 (5人)	会派「翔」 (5人)	さわの会 (3人)	共生 (1人)	風 (1人)	みどり (1人)	結果
										○ 賛成 × 反対
市長等の給料の特例に関する条例制定について	○	○	○	○	○	○-2人 ×-1人	○	×	○	原案可決
公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○-2人 ×-1人	○	×	○	可決
埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立について	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
市道路線の認定について(137号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
北秋津雨水2号幹線築造工事請負契約締結についての一部変更について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
平成17年度	一般会計決算	○	○	×	○	×	×	○	○	認定
	競輪特別会計決算	○	○	○	○	○-2人 ×-1人	×	○	○	認定

## 討論

### 議案に賛成×反対します



#### ■埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立について

- 反対● 広域連合の議会構成員の数に妥当性がない。また、高齢者の負担は重く、滞納者は保険証を取り上げられ、資格証明書等の発行となる。
- 賛成● 医療制度の安定的運営のためにも広域化は必須で、低所得者への軽減策も講じられ、資格証明書等の発行も事情がある場合は交付しない。

#### ■所沢市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について(定数30人)《議員提出議案》

- 反対● 市長等の報酬削減に伴い、性急に提案されている。定数削減は市民の政治参加を狭めるので、報酬等の議論も含め、十分に検討するべきだ。
- 賛成● 定数の根拠は明確であり、コスト論に言及していないので、特別職の報酬停止に影響された提案ではない。

#### ■所沢市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について(定数34人)《議員提出議案》

- 反対● 経費削減であれば、報酬等の削減を議論するべきで、地方分権で市の権限が強化されている中、議会のチェックを強めることが必要である。
- 賛成● 自ら襟を正せという世論を受け入れ、議会も経費削減に寄与するべきである。大幅な削減では民意反映の面で支障があるが、現実的対応である。

# 市政に対する

# 一般質問

12月定例会では、27人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中1項目だけが掲載されています。なお、質問内容の順は、項目ごとの議員名順になっています。

けて、今後関係部局と綿密な調整を進めていきたい。

## 綱紀粛正に向けた

### 監査制度の役割

- 質問者**
- 菅原恵子（日本共産党）
  - 赤川洋二（民主党）
  - 森生郁代（さわの会）
  - 岡田静佳（市民クラブ）
  - 村上 浩（公明党）
  - 桑島健也（会派「翔」）

## 行政・財政

### 災害に備えた 要援護者への支援を

**議員** 昨年、災害時にあらかじめ登録してある情報を活用し、要援護者の避難誘導に役立てる那覇市の「災害ユイメール制度」に準ずる制度の導入を求めた。その後どのように対応しているのか。  
**消防長** 現在、消防緊急通信システムの更新に伴い、仮称「消防救援登録者制度」を計画している。そのため、制度の構築、運用に向

**議員** 地方自治体を舞台にした不祥事が相次ぐ中、議会や監査の責任を問う声もある。貴重な税金の使い道をチェックする監査制度はどのように機能しているのか。  
**監査委員** 事前調査、説明聴取、協議を経て結果報告を決定、公表し、効率的な行政の執行確保に努めている。指摘事項、注意事項の記載や要望を添えることもあり、その場合、指摘後の措置の公表や改善の確認等を行っている。

## 補助金支給団体の

### 決算チェック

**議員** 市が今後、団体運営費補助金の公正な支給を図っていく中、その適正については受給団体個々の財務内容を知る必要がある。これらの団体から受理している決算

書は一括して提供できるのか。  
**総合政策部長** 市の公文書として收受されているものは、基本的には情報公開条例に基づき公開されることになっている。資料請求で提供することも可能である。

## 税金をコンビニで

### 支払えないか？

**議員** 平日昼間に金融機関への納税が大変な方がいる。24時間営業のコンビニエンスストアで支払いができないか。県税である普通自動車税が支払い可能なため、特に軽自動車税について聞きたい。  
**財務部長** 24時間支払い可能なコンビニでの収納は、多くの納税者の利便性の向上が図られ、有効な手法の一つと認識している。他自治体でも広がりつつあり、当市も今後検討していきたい。



## 緊急事態発生時の 情報伝達手段は？

**議員** 市内60か所にある固定系防災行政無線については、音の到達距離はわずか300mで、災害時では雨音や風の音で一層到達距離は短くなる。同設備は災害時、情報伝達の手段となり得るのか。  
**危機管理担当理事** 現在の設置本数で市内全域をカバーすることは難しい。その補完方法として、スピーカー付車両等による広報活動や地元放送局と協定締結を行い、体制の整備を図っている。

## 談合情報マニュアルと 公益通報制度の関係

**議員** 公益通報者保護法ができたことで、談合情報マニュアルは同法が根拠法となり、信憑性の判断や事情聴取は、同法第10条で規定された行政機関が取るべき措置に該当するのではないかと。  
**財務部長** 実名での談合情報の場合、同法で対応し、調査の過程に

## 環境・清掃

### 質問者

- 斎藤治正（さわの会）
- 脇 晴代（共生）
- 荒川 広（日本共産党）
- 小林澄子（日本共産党）

## 廃掃法違反の業者に 納得できる処分を

**議員** 東部クリーンセンター埋設産業廃棄物の処理において、西武建設は違法投棄を認めている。多額の工事を請け負っている同社には説明責任があり、厳しい処分を求めるが見解を伺いたい。



▲固定系防災行政無線（緑町）

**助役** 同社に対し、その責務として事実を究明するように求めた結果、法律上不適切な処理があったとの回答を受けた。市としても、今後このようなことのないよう再発防止に努めていきたい。

**東部クリーンセンターの産業廃棄物処理委託**

**議員** 市と西武建設は、焼却灰混合土を管理型処分場で処理する契約を交わしたが、実際には建設汚泥とされ中間処理していた。これは問題にはならないのか。

**環境クリーン部長** 焼却灰混合土は測定の結果、管理型の産業廃棄物に該当した。これによって最終処分場への処分、または中間処理

のうえの再利用が認められていることから、請負業者側の裁量で選択された。

**牛舎悪臭対策のその後**

**議員** 松郷地域の牛舎糞尿の悪臭は、前回の質問以降、市の指導もあって改善されてきているが、風向きによっては強い刺激臭が鼻を突く。この間の取り組みと今後の抜本的な改善策を伺いたい。

**市民経済部次長** 経営者に対して改善指導、臭気測定を実施し、飼育頭数の削減、堆肥の利用促進等の改善計画を指示した。地道な努力の積み重ねが一番の解決策であり、粘り強く指導していきたい。



▲ JR東所沢駅周辺の様子

**狭山丘陵の谷戸の緑の保全にあたって**

**議員** 北野・谷戸区域は、市の基本方針からみて最終処分場ではなく、緑の自然や風景の計画的な保全に務めるべき土地のはずである。緑の基本計画や環境基本条例ではどう示されているのか。

**環境クリーン部長** 基本計画に示された堀口天満天神社周辺については、保護地区指定等を行っている。基本条例では環境の保全と同時に、重点事業として最終処分場整備事業も位置づけられ、さまざまな計画や条例を定めている。

**まちづくり**

**質問者**

- ・中村 太 (会派「翔」)
- ・大石健一 (市民クラブ)
- ・浜野好明 (市民クラブ)
- ・安田敏男 (さわの会)
- ・浅野美恵子 (民主党)
- ・北尾幹雄 (公明党)

**地下鉄延伸と駅周辺のまちづくり**

**議員** 都市高速鉄道12号線(通称都営地下鉄大江戸線)の延伸に向けた調査では、JR東所沢駅周辺



▲新所沢駅西口第4自転車駐車場

に新たに6、700人程度の人口が必要になるとしている。

**現在のまちづくり基本方針との整合性はどうか**

**まちづくり計画部長** 延伸には交通の利便性向上、駅周辺の活性化が期待できる。その影響は大きいことから、国の答申等を踏まえ、総合計画等との整合を図りながら基本方針に反映していきたい。

**新所沢駅西口の駐輪場はどうなる?**

**議員** 新所沢第4駐輪場について西武鉄道(株)が平成20年3月の契約更新を行わないことが分かった。協議の現状や今後の駐輪場計画について伺いたい。

**市民経済部長** 当該地は同社の事業化計画用地に位置づけられ、西

口広場の再整備に合わせ事業を進めていく計画で、長期的な契約は難しい。従って一定期間の更新が可能か、隣接地の確保、再整備が可能かの両面から協議している。

**生きた農地であって決して遺跡ではない**

**議員** 市は富岡地区に対し、さまざまな農業振興を行っているが、現実には耕作放棄地が残り、農業経営者が衰退している。この状況をどう克服していくのか。

**市民経済部長** 現在、農地活用に向けて年2回遊休農地を調査し、所有者に改善指導を行っている。意欲と能力ある若い担い手の育成と魅力ある農業に向けた施策を引き続き進めていくことが、農業の継続につながるかと考える。

### 食肉センター跡地を 柳瀬川の調整池に

**議員** 所沢では、国土交通省が想定する雨量よりも実際には倍の雨量が記録されている。市所有の食肉センター跡地に仮称「まんだら淵調整池」を作る時期に来ていると考えるが見解はどうか。

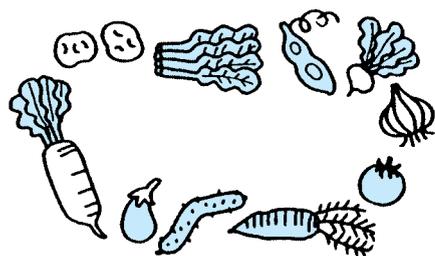
**下水道部長** 県の荒川水系新河岸川ブロック河川整備計画では、柳瀬川の調整池を清瀬市、富士見市に設定、市内には設けない計画になっている。現時点で設置は難しいが、提案は県に伝えていく。

### 第2市民ギャラリーを 有効活用できないか？

**議員** 所沢駅東口に住む北秋津周辺住民は、長年に渡り市に公共施設の設置を要望している。第2市民



▲第2市民ギャラリー（くすのき台）



民ギャラリーについて、前回の質問に有効利用を検討する答弁を得たが、結果はどうなったか。

**市民経済部長** ギャラリー使用を想定した施設で、目的外の活動には多額の修繕費を要し、管理運営面の課題や投票所使用等もある。早期の使用は難しく、検討委員会等設置し引き続き検討していく。

### 農家の管理・運営で 手軽に野菜作りを

**議員** 練馬区で農業体験農園が大きな成果をあげている。税制や耕作放棄の問題もクリアでき、都市農業存続に不可欠な住民理解にも最適である。所沢市でも普及させるべきではないか。

**市民経済部長** 農園利用方式ではJAいるま野が三ヶ島地区に「ふれあい農園」を開園している。市

## 教育・文化

### 質問者

- ・水村篤弘（民主党）
- ・安田義広（会派「翔」）
- ・島村省吾（みどり）
- ・矢作いづみ（日本共産党）
- ・秋田 孝（市民クラブ）
- ・谷口桂子（公明党）

でも余暇利用や健康維持の一助として有効なものとして認識し、今後練馬区の例を研究していきたい。

### いじめ問題への 教育現場の対応は？

**議員** 全国的に、いじめが原因と思われる子どもたちの自殺が大きく報道されている。所沢市としてどのように対応してきたか。

**教育長** いじめはあるという前提に立って、職員が全小・中学校で直接聞き取り調査を行い、情報提供や助言指導をしてきた。また、電話相談窓口「いじめホットライン」を開設し、いじめの早期対応と解消を図っている。

### 給食費滞納問題と 法人からの食材購入

**議員** 全国で18億円を超える給食費の滞納が報道されたが、未納世

帯の把握はしているか。また、（財）県学校給食会から食材の約4割を購入しているが、同会の運営について監視は行き届いているのか。

**教育長** 学校長による私会計であり、細かく把握はしていないが、全国的傾向の例外ではないと認識している。県学校給食会については、適切な運営に努めているものと考えている。

### 公式トラックのある 総合運動場の整備計画

**議員** スポーツは健康の維持・増進や体力向上、人生を豊かにするなど、その意義や重要性がより高まっている。スポーツ振興計画に総合運動場の整備があるが、どのように取り組んでいくのか。

**教育長** 財政面や広大な土地を要することで時間がかかるが、既存施設の転用や市有地の活用、民地の借り上げ等の可能性を探り、実現に向け努力していきたい。

### 学校に必要な 心や体を包み込む環境

**議員** いじめは心の問題であり、中学校のさわやか相談室での相談は、思春期の子どもたちの心のより所である。同相談員は毎日同じ人によって、いつでも相談に応じられる体制が整えられているか。

については、本年度常駐する相談員を全中学校に配置して、同じ人がいつでも相談に応じられる体制を整え、対応している。

### 市立博物館構想の 実現に向けて

**議員** 博物館建設が市制施行60周年事業として予定されている。基本計画策定のプロジェクトチームや準備室の設置等、現在どのような取り組みを行っているのか。

**教育長** ここ数年来、市民との協働による博物館実現を目指して、交流の集いやワークショップを開催、今後さらに活動を積み重ねていきたい。並行して推進組織や準備室、既存施設の活用等、基本的な計画の検討を進めている。

### 放課後子どもプランを FUNJUNJUNZONESか？

**議員** 国は、安心して過ごせる居場所づくりを促進するため、「放課後子どもプラン」を示した。市独自で行っている「ほうかごころ」と同じ役割を果たす事業だと思いが、見解を伺いたい。

**学校教育部長** 地域住民が運営主体の「ほうかごころ」は、同プランの放課後子ども教室推進事業と同様の事業と捉えている。

スタッフの実施体制等は、国の基準よりも手厚く対応している。

# 福祉・医療

## 質問者

- ・越阪部征衛 (会派「翔」)
- ・高田昌彦 (風)
- ・城下師子 (日本共産党)
- ・久保田茂男 (市民クラブ)
- ・平井明美 (日本共産党)

## 3世代家庭に 助成金制度の導入を

**議員** 核家族化の進行が子どもたちの成長に及ぼす影響は計り知れない。家庭や家族の力、地域社会の重要性から3世代家庭に助成金制度を導入し、奨励すべきだと思いが見解を伺いたい。

**保健福祉部長** 核家族化による親の孤立化、子育て力の低下に対し



て、講座や教室、情報交換の場を提供し、環境整備を進めている。3世代同居を促す支援制度も一方策として研究していきたい。

## 優遇されている デイサービスセンター

**議員** 市が設置した4つの老人デイサービスセンターは、社会福祉法人に委託され光熱費を払うだけで営業しているが、なぜ無償貸与なのか。市税の公平性に欠けるのではないか。

**保健福祉部長** いわゆる公設民営で、利用者減少による収益減も想定される。稼働率、人件費など一律に取り扱えない面もあるが、次期指定時には公平性の観点から収益面を十分見極めたい。

## 認定こども園導入で 保育格差が広がらないか？

**議員** 保育園と幼稚園の機能を合わせた認定こども園制度が10月から始まった。導入にあたり市は県に対し、施設整備や職員配置等、現行基準を維持するよう要望すべきと考えるが見解を伺いたい。

**保健福祉部長** 現在具体的な運用指針が示されていないため、詳細は把握できていないが、現行の保育園等の設置基準や保育の質が低下しないよう県へ要望し、今後さらに情報把握に努めていきたい。

## できるだけ早い時期に 窓口払いの廃止を

**議員** 核家族化が進み、子育てと同時にストレスのたまる保護者への支援も必要である。そうした保護者への支援の立場から、乳幼児医療費一部負担金の窓口払いの廃止について見解を伺いたい。

**市長** 年齢拡大分の自己負担金の廃止や医師会等のご理解、ご協力の課題もあるが、乳幼児の健全な育成と保護者支援のため、新年度の早い時期に同業務を廃止すべく検討を指示している。

## 清瀬小児病院移転後の 小児医療体制は？

**議員** 清瀬小児病院は近隣4市で最も利用者が多く、移転後、夜間の小児救急をどうするのが問題となっている。移転後の体制について具体的な構想を伺いたい。

**市長** 広域的な小児医療体制の構築に関しては、基本的に埼玉県の仕事と考えている。集中化・重点化により大きな病院を充実させることも重要であり、近隣市とともに県へ要望していくことも必要と考えている。



市議会の情報をインターネットのホームページで発信します。  
アドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>



## 平成17年度 決算を認定

平成17年度決算が9月定例会に提出され、閉会中に決算特別委員会で審査しました。  
12月定例会で、次の討論を行い、採決の結果、決算はすべて認定されました。

### ◆ 決算認定に反対 ◆

#### ● 一般会計

難病見舞金の削減や教育費の父母負担軽減交付金の対象者削減など、市民にとって身近なサービスや助成制度を削る一方、IT関連事業への大盤振る舞いや開発促進の予算執行が目につく。まちづくりは特定の手法が先行し、住民が置き去りにされている。

● 競輪特別会計  
公営ギャンブルを一般会計の財源とする考えに反対である。また、ある程度の規模の金額を組まないで予算積算ができないため、事業内容を正確に判断することを妨げる。

### ◆ 決算認定に賛成 ◆

#### ● 一般会計

難病見舞金や父母負担軽減交付金は実施されていない市もある中で、将来にわたって持続するため減額したものである。IT化は効率化と経費削減により市民ニーズに応え、また、まちづくりに関する支出は安全性や住環境の向上の面からも必要不可欠である。

● 競輪特別会計  
厳しい環境の中、ファンバスの運行や無料入場券の配布などにより売り上げを伸ばし、経費の削減も図っている。議会決議に沿った競輪事業からの撤退宣言は評価できる。

請願・陳情審議の結果			
	請 願 件 名	提 出 者	結 果
12月定例会分	○請願第7号 所沢地区体育館を建設願いたき件	所沢地区町内会連合会 会長 岸 周次郎さん (旭町) ほか7,940人	採 択 (全会一致)
	○請願第8号 所沢聖地霊園第IV期墓地増設計画への適切な行政指導について	寺尾 敏明さん (中富南) ほか753人	継続審査 (全会一致)
	○請願第9号 「教育基本法改正案の慎重審議を求める意見書」を市議会から国会にあげていただく請願	子どもたちの未来と教育を考える会 代表 内田百合子さん (西狭山ヶ丘) ほか48人	審議未了
前定例会からの継続審査分	○請願第6号 狭山丘陵の六ツ家川源流である北野の谷戸を風致公園とする件	狭山丘陵の谷戸を守る会 代表 菊一 敦子さん (上安松) ほか9,383人	継続審査 (全会一致)

閉会中の議会活動から

■教育福祉常任委員会

障害者の就労支援

障害者通所更生施設や通所授産施設を視察し、就労状況や障害者自立支援法による影響などを調査しました。

これらの審査の結果、委員会の総意として次の事項を早急に検討するよう要望しました。

1 庁内において、障害者の就労に関する広報や情報を伝達し、また、障害者の職場実習の場として、受け入れることの可能性について

2 障害者が希望先等へ就職できる環境を整備するため、指定管理者や委託先企業、補助金を支出している団体なども含め、企業に働きかけることについて

■市民環境常任委員会

産業廃棄物保管地火災の経過

排出事業者が廃棄物の撤去費用の負担に応じ、不足額を「けやき積立金」から支出する旨の報告がありました。

最終処分場と

一般廃棄物処理基本計画

第二一般廃棄物処分場の規模、一般廃棄物処理基本計画の改定などについて資料に基づき審査をしました。

■まちづくり基本条例に関する特別委員会

市民アンケートを実施し、今後アンケートを集計し、提言をまとめていくことになりました。

■議会運営委員会

文京区の議会運営活性化計画及び福島市議会の一問一答方式について視察しました。

▶▶市議会3か月▶▶

- 10月2日 市民環境常任委員会
- 3・4・6日 決算特別委員会
- 10日 建設水道常任委員会  
教育福祉常任委員会
- 12日 議会報・図書室委員会
- 18～19日 代表者会議視察
- 24日 教育福祉常任委員会
- 25～26日 議会運営委員会視察
- 11月2日 議会運営委員会
- 7～10日 中国常州市友好訪問  
韓国安養市友好訪問
- 13日 まちづくり基本条例に関する特別委員会
- 27日 代表者会議  
議会運営委員会
- 12月4日～12月20日 第4回定例会



議会運営委員会視察

編集後記

新春を迎え、今回の表紙の写真は伝統ある久米水天宮のだるま市です。

2007年は統一地方選挙の年でもあり、例年以上にだるまの活躍する年となります。

これからも「ところざわ市議会だより」を通し、年4回の定例会の内容をより一層わかりやすくお伝えできるように努力してまいります。(鳥)

- 委員長 小林 澄子
- 副委員長 浅野 美恵子
- 委員 島村 省吾
- 中村 太
- 大石 健一
- 桑島 健也
- 脇 晴代
- 高田 昌彦
- 高橋 広成



連絡先 議会事務局調査担当

(Tel) 2998-9256  
(Fax) 2998-9222



次の定例会は  
2月22日からの  
予定です。